

平成25年度指定管理者モニタリングシート

1 施設等の概要

施設名	子どもセンターひばり		所管課	子ども家庭部子育て支援課(内線2410)	
指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ(2期目)		指定管理者所在地	東京都豊島区池袋三丁目1番2号 光文社ビル6階	
指定期間	平成23年4月1日～28年3月31日	利用料金制の有無	有 ☒ 無 ☐	他自治体での指定管理者実績	福生市児童館、新宿区児童館
施設の設置目的	市内の児童に健全な環境を与え、その健康を増進し、情操をゆたかにするため、児童館を設置する。				
事業概要 (サービスの概要、自主事業等)	平成23年度から、子どもセンターひばり・けやき・滝山の3児童館を特定非営利法人ワーカーズコープが管理運営している。(子どもセンターひばりは、平成18年度から)指定管理者制度を導入して、日曜・祝日開館と中高校生年代の居場所づくりの児童館運営の拡充を図っている。				

2 モニタリング評価

評価項目	評価の視点	評価				
公平な使用の確保	＜公平性の確保＞使用許可は適切に行われたか、不適切な利用制限はなかったか	5	4	3	2	1
市民サービスの向上	＜事業等運営＞新たなサービスの提供等、具体的なサービスの向上を図っているか	5	4	3	2	1
	＜施設維持管理＞設備機能維持のための保守点検、清掃業務・光熱水費・備品管理等に遺漏はないか	5	4	3	2	1
	＜情報管理＞個人情報保護及び情報公開について十分配慮し、必要な措置を講じているか	5	4	3	2	1
	＜危機管理＞事故・災害等に対する綿密な危機管理体制が整っているか	5	4	3	2	1
	＜市民協働＞地域住民と一体化した取り組みがなされているか	5	4	3	2	1
	＜ノーマライゼーション＞障害者や高齢者等に配慮した運営をしているか	5	4	3	2	1
	＜モニタリング＞利用者の満足度を図る仕組みや事後評価がなされているか	5	4	3	2	1
経費の節減など効率的な運営	＜コストパフォーマンス＞サービス水準を維持しつつ、利用者に適正な運営をしているか	5	4	3	2	1
	＜収支の改善＞利用者の増加を図る等、収支状況の改善に向けた取り組みをしているか	5	4	3	2	1
	＜経済・効率性＞経費節減のための工夫など、効率的な運営の仕組みが確立されているか	5	4	3	2	1
	＜経費の妥当性＞管理運営経費は、その内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか	5	4	3	2	1
	＜再委託業務＞再委託されている業務の範囲は適切か	5	4	3	2	1
	＜環境対策＞市の環境施策を理解し、省エネ省資源等、地球環境に配慮した管理運営がなされているか	5	4	3	2	1
安定的な施設サービスの継続的な提供	＜サービスの信頼度＞施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全、安定的な施設管理ができているか	5	4	3	2	1
	＜職員の専門性、配置体制＞施設の管理及び事業の運営を行うにあたって十分な能力を有し、事業内容に適した職員が配置されているか	5	4	3	2	1
	＜研修体制＞職員の指導育成、研修体制は適正であるか	5	4	3	2	1
	＜労働条件＞職員に対し、労働法規等を遵守した適正な勤務体制か	5	4	3	2	1
	＜経営基盤＞指定管理者(母団体)は、公共サービス事業提供者にふさわしい理念・方針のもと、経営が安定しており、施設を継続的・安定的に管理できる能力を有しているか	5	4	3	2	1
施設の特性によるサービス提供	＜施設の特性＞施設の設置目的の達成等、その施設ならではの特色を活かした運営がなされているか	5	4	3	2	1
合計点数		59点／100点				

3 決算額及び利用状況

市決算額	22年度	23年度	24年度	指定管理料 対前年度増減		今期指定管理者選定 前3ヶ年の 平均決算額	利用人(件)数			利用人(件)数 対前年度比増減	
指定管理料	42,469,599	41,477,690	41,477,690	24年度-23年度	23年度-22年度		22年度	23年度	24年度	24年度/23年度	23年度/22年度
使用料							42,565,957	43,826	35,674	36,469	102.2%
成果配分金				0	-991,909						

※指定管理料欄及び3ヶ年の平均決算額欄:指定管理者制度導入1期目の施設については直営時3ヶ年の決算額を記入。

※成果配分金は当該年度に記載(市の決算上は翌年度収入)

4 現状と課題及び次年度以降に向けた方向性

* 2の評価を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。

①＜職員の専門性、配置体制＞職員の異動、退職が多くあるため職員の定着化が課題。利用者との関係、地域との信頼を得るために一定期間の継続勤務が必要である。

②＜研修体制＞子育て支援課によるワーカーズへの新人職員研修が求められる。東久留米市児童館の理念の継承が課題。

③＜特に評価すべき点＞子どもセンターひばりの開館以来継続して勤務されている館長の存在は、ひばりの運営にとって大きな効果がある。夏祭りのボランティアの調整、近隣の中学高校等、地域との連携が確立されている。

④＜改善が望まれる点＞ １・ワーカーズ職員の東久留米市立児童館の基本理念の構築 ２・職員の定着化 ３・市立児童館としての運営ノウハウの継承
４・館長、主任、ベテラン職員の育成 ５・中高校生年代の居場所づくりの推進

⑤＜評価・改善点＞時間延長・日曜祝祭日開館することで、利用者が増加し、中

資質の向上が求められる。

5 総合評価

公平な使用の確保		市民サービスの向上		経費節減など 効率的な運営		安定的な施設サービスの 継続的な提供		施設の特性による サービス提供		A期待大きく 上回る B期待以上 C期待通り D期待やや下 回る E期待下回る
・公平性の確保	C	・サービスの維持向上 ・施設の維持管理 ・危機(情報)管理対策 ・利用者の評価 など	B	・効率的な運営 (経費節減) など	C	・業務体制 (職員配置・研修等) ・指定管理者の安定性など	D	・公の施設の設置目的の 達成など	B	

記入日 平成26年1月31日

6 二次評価

東久留米市の児童館では、最初の公設民営館であり、利用者の拡大・地域との連携を積極的に行っている点は、評価できる。一方で、職員の入れ替えが頻繁にあるとの指摘もあり、子どもと地域との信頼関係をより良いものとするため、事業の執行体制及び職員の研修方法には、改善の余地がある。今後も所管課である子育て支援課との連絡を密にし、健全な児童館運営を期待している。	評価
	C